

一般的な総合計画の構成

総合計画の構成は、様々なパターンが採用されている。ここでは、一般的な総合計画の構成を示す。

【三層構造】

- 基本構想を計画期間を定めた長期計画として位置づける。計画期間は、概ね 10 年程度が最短で、長いものでは 25 年から期間を定めていない場合もある。
- 基本計画は、基本構想で描いた将来像を具体化するための方策を示すものと位置づけ、基本構想と基本計画の整合性が高いレベルで確保されている。実質的な計画期間（見直しのタイミング）は、5 年の場合が最も多い。近年は市長の在任期間との連動性を高めるために 4 年とする事例も増えつつある。
- 短期計画である実施計画において、具体的な施策や事業の計画年度や金額等を明らかにする。計画期間は、3 年計画で毎年ローリング（見直し）、基本計画と同じ期間毎年ローリングをしないなど、様々である。

